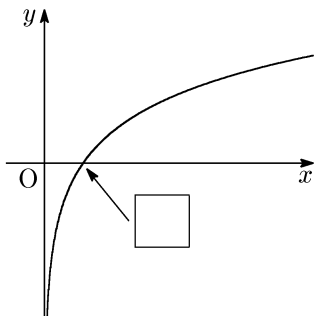


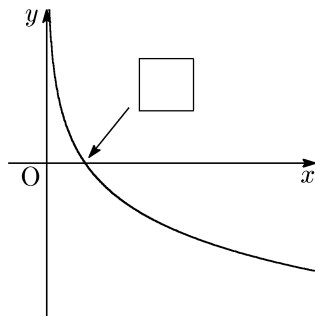
### 対数関数

**例 1** ※別紙で確認せよ。

①  $y = \log_2 x$



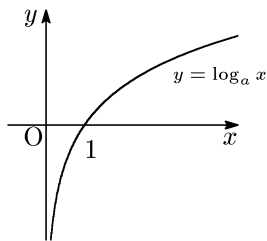
②  $y = \log_{\frac{1}{2}} x$



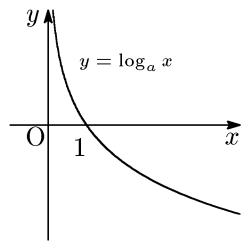
※上の図に必要な数値を書き込め。

$a$  が 1 でない正の定数のとき、 $x$  の正の値に対応して  $\log_a x$  の値がただ 1 つ定まる。そこで、 $y = a^x$  で表される関数を、 $a$  を \_\_\_\_\_ とする \_\_\_\_\_ という。

$y = \log_a x$  のグラフは、 $a$  の値によって形が異なる。



[ $a > 1$  のとき]



[ $0 < a < 1$  のとき]

**重要**  $y = \log_a x$  のグラフは、 $y = a^x$  のグラフを、直線 \_\_\_\_\_ に関して対称移動したものである。  
対数関数の性質をまとめておくと、以下ようになる。

#### ● 対数関数の性質 ●

指数関数  $y = a^x$  について、

[1] 定義域は正の数全体、値域は実数全体であり、

$$\log_a p = \log_a q \iff p = q$$

[2] グラフは定点 ( \_\_\_\_\_ , \_\_\_\_\_ ) を通り、 $y$  軸が \_\_\_\_\_ である。

[3]  $a > 1$  のとき、 $x$  の値が増加すると、 $y$  の値は \_\_\_\_\_ し、

$0 < a < 1$  のとき、 $x$  の値が増加すると、 $y$  の値は \_\_\_\_\_ する。

$$\begin{aligned} a > 1 \text{ のとき, } p < q &\iff \log_a p < \log_a q \\ 0 < a < 1 \text{ のとき, } p < q &\iff \log_a p > \log_a q \end{aligned}$$

**例題 1** 次の数を, 小さい方から順に並べよ。

$$\frac{1}{2} \log_2 \frac{1}{3}, \quad -1, \quad \log_2 3^{-1}$$

**例題 2** 次の方程式を満たす  $x$  の値を求めよ。

(吉教科書 p.102 問 16)

(1)  $2 \log_4 x = 3$

(2)  $\log_3 x + \log_3(x + 2) = 1$

**例題 3** 次の不等式を満たす  $x$  の値の範囲を求めよ。

(吉教科書 p.102 問 17)

(1)  $\log_{0.5}(2x - 1) > \log_{0.5} x$

(2)  $\log_{\frac{1}{2}} x + \log_{\frac{1}{2}}(x + 1) \geq -1$

=====  
[MEMO]